

2020年4月13日
日新火災海上保険株式会社

2020年度 新入社員への社長メッセージ

日新火災海上保険株式会社（取締役社長 織山晋）は、例年4月1日に入社式を行っておりましたが、本年は、新型コロナウイルスの状況を踏まえ、入社式を中止しました。

社長の織山晋が、新入社員49名（全国型33名、地域型16名）に向けて発信したメッセージを以下にまとめましたので、新入社員向け社長挨拶のコーナーなどでご採用いただけましたら幸いです。

はじめに

皆さん、入社おめでとうございます。本日から日新火災の社長に就任しました織山です。日新火災を代表して、皆さんの入社を心から歓迎いたします。

今日は、皆さんが、日新火災の社員として、また、社会人生活のスタートを切るにあたって心に留めておいてほしいことを3点お話します。

「人を大切に」

1点目は、「人を大切にする」ということです。

私は、日新火災の一番の良さは、「人に優しい会社」「何よりも人を大切にする会社」であることだと思っています。当社の社員は、優しさがあり、思いやりの心があります。皆さんも就職活動のなかで、社員に接した際、感じられたことかもしれません。

社内に、当社がサポートしているスポーツライミングのポスターがたくさん貼ってあります。ここに当社のコーポレートメッセージが書かれています。「ハートフルマインド・カンパニー日新火災」です。

私が入社した当時は、「こころの真ん中はやさしさ」というコーポレートメッセージがありました。皆さんが就職活動をしていた際に配布したパンフレットにも「こころある仕事がここにある」というメッセージを記載しています。

当社は創業110年を超える歴史のある会社ですが、この「人に優しい会社」とは、会社のDNAになっていると思います。皆さんは、これから仕事をしていくなかで、お客さま、代理店さん、先輩、同僚、同期など、多くの人との出会いがあります。その時に自分が接する人を「心から大切に思う」「この人の役に立ちたいと思う」という優しさのある社員になってください。その気持ちをもっていれば、信頼関係が生まれ、仕事も必ず上手くいきます。

様々なことに「挑戦」を

次に、様々なことに挑戦して、一つでも多くの経験を積んでください。挑戦した結果は、「成功する」か「学ぶ」かのいずれかです。いつもやることが上手くいくとは限りません。上手くいかなければ、なぜ上手くいかなかったのか、学習して次にいかしてください。若い皆さんには、失敗はありません。失敗ではなく、それは学習です。失敗を恐れて何もしないよりも、一歩踏み出す勇気をもってください。

スポーツライミングのポスターに、「次の一步を」という言葉があります。様々なことに挑戦して、経験を積んでいくと、必ず皆さんの成長につながります。一步を踏み出せる人と踏み出せない人では、数年経つと大きな差が現れてきます。様々なことに本気で挑戦し、より多くの経験をして、自らの成長につなげてください。失敗はありません。成功するか学ぶかです。

何事にも「目的」がある

3点目は、何事にも「目的」があるということです。日新火災の事業の目的は、事故や災害の際、最もダメージを感じやすいリテールのお客さまをお守りすることです。また、東京海上グループは、「いざ」というときにお客さまや地域社会の役に立つことです。

皆さんは、それぞれ配属された部署で働くこととなります。サービス支店で働く人、本社部門で働く人、どういう役割を担うとしても、その仕事には必ず意味があり、目的があります。配属先で先輩から仕事を教わりますが、自分なりに仕事の目的を考えて、皆さんが「正しい」と思うことを実践してください。

新入社員であっても、皆さんの仕事は、必ずだれかの役にたっています。お客さまかもしれないし、代理店さんかもしれない、あるいは先輩、同僚など、対象となる人は異なるかもしれませんが、仕事を通じて、だれかの役に立っています。人はだれしも「役に立ちたい」という想いがあります。その想いをもって、目的をもって、仕事を始めてください。

最後に

日新火災の社名の由来は、中国の古典「大学」にある「まことに日に新たに、日に日に新たに、また日に新たなり」という一節からきています。この「日に新たに」の意味するところは、一日一日を新たな気持ちで迎えて、常に進歩し続けているという意味です。一日を無駄に過ごしてはいけません。一日一日を大切に、有意義に過ごし、素晴らしい社会人生活をスタートさせてください。

そのためには、健康にも十分に留意してください。健康であってこそ、良い仕事ができます。

今日から、49名の新入社員の皆さんと、力を合わせ良い会社を創っていきましょう。